

昭和53年

9月1日

市報

やまぐち



川を巡り「ハアー……」

「庭先」で盆踊り

後河原町内

「ハアー、川の向うから、誰やら招く?」川の中組んだヤグラから流れ、「後河原音頭」にのつて町内の老若男女三百人が踊る「後河原町内会盆踊り」が

八月十七日夜、一の坂川畔で開かれました。

町内の新仏の供養と町内

にも行事をと毎年開いてい

るもので、「後河原音頭」

も盛んに行われました。

盆に招かれてくる精靈を

慰め、送る踊りといわれる

盆踊り、今年も祭り色を

ふんだんにこめて市内各地

でも盛んに行われました。

は、町内の人たちの作詩、作曲によるものです。桜、柳、つづじと清流の織りなす「町内の庭先」で、提灯の薄明りの中で夏の一夜を楽しみました。

二ページ別稿のとおり、このほど、恩給法・戦傷病者戦没者遺族等援護法等が、改正になりました。

戦没者の遺族、旧軍人・軍属または準軍属の人で、たずねたいこと、相談したいことがある人のために、次のとおり援護相談会が開かれます。

関係の資料を持参のうえ、お気軽においでください。

日時 九月二十二日午前十時から午後三時まで

場所 山口市役所三階第一会議室

援護相談会

市制五十周年記念

論文募集中

市では、市制五十周年を記念して「これからの山口市」を

テーマに論文を募集中です。

山口市の過去や将来についての建設的な意見、主張、ふ

るさとを愛する心といったものを四百字詰原稿用紙十枚程度にまとめて、九月三十日まで

に市役所内市制五十周年記念行事事務局あてご送付ください。

なお、入選作品には賞を贈り、市報に発表します。

作品には住所、氏名、年令を明記のこと。

(3)



哀しげな秋の花、まんじゅしゃげ

いよいよ秋です。天高く、地上には実りの喜びがみち、健康とスポーツと勉強のための好季節です。がんばりましょう。

—9月のことみ—

■台風 1日は二百十日、11日は二百二十日で、台風シーズンです。暴風雨に対する備えをまえもって充分しておきましょう。また1日は「防災の日」です。地震、台風、洪水、高潮などに対処する心構えを平常から準備しておきましょう。

■市民体育大会・いこいの広場 3日は、市民体育大会が、県陸上競技場ほかで行されます。同時に子ども対象の青空天国いこいの広場が、維新百年記念公園で開催されます。ご家族そろって参加してください。

■敬老の日 15日、この日から一週間は老人福祉週間、市内各地で、社会に尽されたおとしよりに対し、感謝の行事が行われます。

■名月 17日が旧暦の8月15日にあたり、いわゆる仲秋の名月です。

■秋の彼岸 20日が彼岸の入り、23日が中日、秋分の日です。家中そろってお墓参りなどをし、祖先の靈をますります。26日に彼岸があけます。

■秋の全国交通安全運動 21日から10月1日まで。運転者も歩行者もおたがいがさらに注意の再確認をしましょう。山口市は現在、死亡事故が他市にくらべて、たいへん多くなっています。さらに心をひきしめて、安全を心掛けましょう。

大内太鼓の再現、保存という
声は、今夏開かれた県ふるさと
まつり山口市実行委員会で提案
されました。



祇園祭りの初日、八坂神社境内で「大内太鼓」を奉納する保存会のメンバー。つめかけた見物者にも大好評でした。

祭りにつきもののおはやしを、これを契機に何か後世に残そうと、計画されました。そうと、春彦(春彦)をつくって、準備にとりかかりました。まず、約六百年前の風俗、文化を研究。祇園社が京都から勧請された当時、「優雅なサギの舞とともに、笠鉾をつくり、山車にのせた大太鼓のは

八月十一日、山口商工会議所分室で、関係者四十人が集まつて「大内太鼓保存会」(会長作間正朝)が結成されました。

祭りにつきもののおはやしを、これを契機に何か後世に残そうと、計画されました。早速、準備会(事務局長藤村春彦)をつくって、準備にとりかかりました。

まず、約六百年前の風俗、文化を研究。祇園社が京都から勧請された当時、「優雅なサギの舞とともに、笠鉾をつくり、山車にのせた大太鼓のは

「再現」完成しました。祭り太鼓の音は、男性的なものが多いため、大内太鼓の調べはやさしく、栄枯盛衰を象徴したものとなっています。太鼓打ちを担当するのは、祭り好きの若者の集まり「祭狂会」(杉本寿昭会長、三十人)のメンバー。七月初旬より練習開始、七月二十日祇園祭の初日八坂神社奉納で、見事な打ちっぷりを披露しました。

栄枯盛衰を調べに

やしこのせ、男衆に引かせたことはわかったが、太鼓の大きさや音律はわかりませんでした。それでも、「当時のものはやしはこんなものだろ」という輪かくをつくりあげ、これをもとに、浩史さんに依頼。大太鼓二、平太鼓二、宮太鼓の一組み合わせた七人編成の大内太鼓が

保存会では、今後伝習会を開き、伝承とともに、祭だけでなく、市内で開く全国的な集会などにも、郷土芸能として積極的に披露することになっています。これで、今春、湯田温泉旅館協同組合青年部が新しい郷土芸能をつくりだし、「長州太鼓」とともに山口の名物がまた一つふえました。

第12回市老人福祉大会へどうぞ

大会は表彰、お祝いのことば、敬老のことば、意見発表、宣言決議などを行い、正午に終わります。引き続き十二時三十分から同会場では、老人クラブ会員のみによる楽しい芸能大会が行われます。

場所 山口市民会館大ホール
開催日時 9月14日午前10時30分から受付けは8時30分から

大会当日午前9時から午後2時30分まで、市民会館ロビーで、老人クラブ会員のみによる製作品(書画・陶芸品・民芸手芸品・竹製品・盆栽など)の展示即売会も開かれます。

製作作品展示即売会

■老人クラブ会員

温泉でごゆるりと： 寿泉荘・嘉泉荘

九月の敬老月間にちなみ、市では期間中、老人憩の家寿泉荘(湯田温泉五丁目・夜間保育所双葉園の西隣り)、嘉泉荘(嘉川稽古屋・お祭迦さま付近)をお年寄りに一人一回無料で開放します。

どちらも温泉つきの施設です。どうぞお気軽にご利用いただき、楽しい一日をお過しください。

なお、利用の際は、必ず利用券をご持参ください。

「敬老の日」にあたり、お年寄りのみなさんをお祝いし、あわせてお年寄りも自から長寿への意欲を高めるため

市・市社会福祉協議会と市老人クラブ連合会では、「第十二回山口市老人福祉大会」を次のとおり開きます。

みなさんのおいでをお待ちします。



▲延べ1,000人が献血一名田島

血液が不足する8月に献血をとの呼びかけに、8月16日名田島献血者同盟90人が献血をしました。お互いのため、地区内のことだけでも自分達でと始めた献血も、今年で13回目、延べ1,000人献血の金字塔をうちたてました。



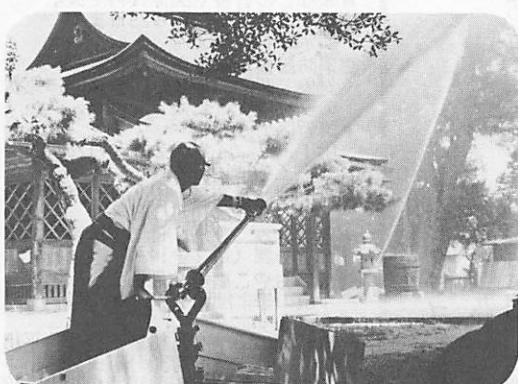
▲砂浜がすっかりきれいに

8月4日、美濃ヶ浜海岸で、県・市職員50人を含め、山口漁協関係者総勢200人が参加して、清掃作業を行いました。漁場環境保全月間の行事の一つで、ごみで汚れた砂浜がすっかりきれいになりました。



▼放水銃から、防火用水がとぶ

国の重要文化財の八坂神社本殿を火災から守るために防火施設が完成、8月11日試験放水が行われました。この防火施設は、昨年10月から工事が進められ、放水銃4基、消火せん2基、避雷針1基が備えられたもので、総工費は約1,000万円でした。



▲お母さんと一緒に汗を流す
親子で楽しみながら体力づくりをと、市体操協会主催で親子体操教室が、8月十日三十組の親子が参加して開講。親子体操、マット運動やゲームなどに取り組み、親子一緒に汗をながしていました。



▼熱気の全国PTA研究大会

8月7日・8日、山口市を中心全国から7,000人が参加して標記の大会が開かれました。最終日の8日、県体育館で全体会議、熱暑の中で熱心に討議、テレビ低俗番組追放を決めるなど行動するPTAの本領を発揮しました。

八月十一日、県内は日本脳炎ウイルス汚染推定地区となりました。体に気をつけて、発生防止に努めましょう。

この度の研修には、厚狭から二十名、地元山口から十名の婦人の参加があり、一泊二日の日程で同和教育をすすめるための講義や地域での活動の情報交換、今後の取り組みへの意見交換、同和対策事業でつくられた福祉・教育施設の見学等の研修をとおして同和問題に対する理解と認識を深めると共に、問題解決に対する意欲づけに効果を上げました。

特に共同生活をとおしての炊事と会食、自由懇談・レクリエーションは、同和地区婦人と地区外婦人の相互理解を深めることに役立ちました。こうした機会をとおして、

婦人と同和教育



婦人と同和問題は、次のように考えられます。

男女差別という現実の問題に目を向け、婦人自らが人権の尊さを自覚し、身近な生活中にある不合理な差別を許さない心情にたつことがたいせつである。

部落差別のきびしさは、だれよりも婦人が身近に自感できるのではないでしょう。母親としての同和教育は、部落差別のきびしさは、だれよりも婦人が身近に自感できるのではないかでしょうか。母親としての同和教育は、

婦人には、子どもを生み育てるという母親としての役割があります。母親は家庭を中心とした人づくりの教育者ともいえ、子どもの人格の基礎は家庭でつくられます。母親の不用意なひと言で、子どもたちの美しい友情をこわし、愛情の芽を無惨につみとることになります。

次代の家庭人・社会人を育てる役割を母親が持っているともいえそうです。家庭と同和教育

親自身が同和問題を正しく認識し、同和問題の誤った考え方を子どもたちに伝えないようにしなければなりません。同和教育は、社会の矛盾と不合理を正していくものであります。お互いに認め合い、励まし合える家庭人の育成は、地域社会のすべての子どもたちの幸せに通じるものであつてほしいと願うものです。

■不燃物の収集日■

出張所地区

・9月 平川11日、小鰐14日、大内18日、吉敷21日、大歳25日、仁保27日
宮野28日

・10月 嘉川2日、佐山・名田島3日
陶、鑄鉄司4日、秋穂二島5日

■昭和54年歌会始のお題

- お題 丘
- 詠進歌の詠進要領 自作の歌で1人1首未発表のものに限る。用紙は、半紙(たて約24%×よこ約33%)を二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名(本名ふりがなつき)生年月日及び職業を毛筆で書く。なお盲人の方は点字でよい。
- 詠進の期間 9月1日から10月11日
- 送り先 東京都千代田区千代田1番1号宮内庁とし、封筒に「詠進歌」と書く。

■小売商検定試験(2級)

- 日時 10月4日午前10時から
- 場所 山口商工会議所(県商工会館内)
- 資格 小売業に従事している人および将来従事しようとする人、ただし義務教育修了者以上の人
- 受験料 2,100円
- 申し込み 9月11日までに会議所に申込み書に受験料を添えて、山口商工会議所(電②-2300)へ

店頭にかかけられた標準
食肉販売店の標示板



店頭にかかけられた標準
食肉販売店の標示板

昭和五十一年度から県では、適正表示販売の普及をと、肉の調理目的に利用できるように肉の部位を表示し、購入できるようにしました。

標準食肉販売店の指定制度

ご存知ですか

福祉センター

人形クラブ会員募集

○講師 豊田トヨ子先生
○会員費 月五百円と材料費

○開講日 9月十一日毎週
○対象 六十歳以上の人
○月曜日に開講。時間午前
○十時から正午時まで

○場所・申し込みは、下立
○二七一七二二一へ
(電)

■市民手話講習会受講生募集

- 期間 9月11日から11月まで毎週月曜日午後6時から8時まで
- 会場 市福祉センター(立小路)
- 受講料 無料
- 希望者は9月11日会場へ。くわしくは山口手話の会事務局吉賀幸治さん(電②4111、内線318)へ

■刑務官募集

- 資格 昭和24年4月2日から36年4月1日までに生まれた男子
- 試験日 11月5日(第1次)
- 場所 山口市、その他
- 受け付け 9月8日から21日まで
- 申し込み 用紙は、山口市松美町3-75 山口刑務所庶務課へ

■警察官・交通巡視員募集

- △警察官
 - 資格 警察官A—昭和26年4月2日から32年4月1日までに生まれた男子で、大学卒業または来年3月までに卒業する見込みの者(短大は除く)
 - 警察官B—大学卒以外の人口で、昭和26年4月2日から36年4月1日までに生まれた男子
- 受験申し込み 9月17日までに最寄りの警察署へ

- △交通巡視員
 - 資格 昭和24年4月2日から36年4月1日までに生まれた女子
 - 受験申し込み 9月20日までに最寄りの警察署へ

■映写会—県視聴覚センター

- 日時 9月16日午後1時から
- 会場 県立図書館内視聴覚センター
- プログラム あなたとガスト安全と煙の恐ろしさ、家庭電気器具の上手な使い方、どう棒のささやき

○入场料 無料

- 資料展示—県立山口図書館
 - 山口県の代表的な学者、政治家、教育家などの著書や関係資料を展示
 - 期間 9月1日から29日まで
 - 展示資料 約50冊

■消防設備士講習会受講生募集

- 対象 昭和52年3月31日以前に免状の交付を受けた人
- 講習区分と日程
 - 甲1・2、乙1・2種9月28日、甲3、乙3種10月4日、甲4・乙4・乙7種9月29日、甲5・乙5種10月5日、乙6種10月3日
 - 申し込み 9月9日までに市消防本部予防課(2-1470)へ

■山口おやこ劇場9月例会

- 「風の子」団員5人による舞台劇「2+3」
- 日時・場所 9月16日午後2時平川小学校、午後6時30分市民会館小ホール、9月17日午前10時小郡小学校体育館、午後3時宮野小学校
- 会費 500円

お母さんの勉強室

- 児童文化センター
 - 小中学生をもつお母さんを対象に、アートフラワー講座を開きます。
 - 開講日 9月14日・21日(午前10時から12時)
 - 場所 児童文化センター
 - 講師 進藤真澄先生
 - 定員 30人 会費 400円
 - 持参品 ピンセット、目打、ボンドはさみなど
 - 申し込みは、9月10日までに児童文化センター(電②4285)へ

実施場所	1回目	2回目	3回目	時間
市役所市民ホール	9月14日	10月5日	10月26日	13:30~15:00
湯田夜間託児所	9月13日	10月4日	10月25日	〃
大殿福祉センター	9月12日	10月3日	10月24日	〃
仁保生活改善センター	9月12日	10月12日	11月14日	13:30~14:30
小鰐公民館	9月11日	10月2日	10月25日	〃
大内出張所	9月13日	10月11日	11月1日	13:30~15:00
宮野	9月19日	10月11日	11月1日	〃
吉敷公民館	9月12日	10月13日	11月17日	14:00~15:00
平川出張所	9月13日	10月4日	10月25日	13:00~14:30
大歳	〃	9月12日	10月3日	10月24日
陶公民館	9月13日	10月4日	11月1日	13:30~14:30
鋳鉄司相川医院	9月13日	10月12日	11月15日	14:00~15:00
名田島公民館	9月27日	10月18日	11月15日	13:30~14:30
秋穂二島	〃	9月12日	10月4日	10月25日
嘉川	〃	9月13日	10月4日	10月25日
佐山	〃	9月12日	10月3日	10月24日

9月の休日当番医	外科系				内科系			
	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話
3	田村外科	山口2-7527	小川整形外科	小郡2-2887	本永内科医院	山口5-7001	藤田医院	小郡2-0279
10	丘病院	山口5-1100	同仁病院	阿知須4006	山県医院	山口2-0206	林病院	小郡2-0411
15	柴田外科	山口2-1012	三隅外科	小郡2-1003	湯田医院	山口2-1739	第一病院	有富医院
17	済生会山口病院	山口2-2430	吉武医院	秋穂2330	吉松内科	山口2-7397	上郷医院	阿知須4006
23	山口赤十字病院	山口2-0680	共立病院	阿知須2200	田中医院	山口7-0053	田中内科	田村内科
24	佐々木外科	山口2-2537	林病院	小郡2-0411	野口医院	山口2-2427	豊嶋医院	小郡2-2325
								二島 2002
								秋穂 2705
								嘉川 4749
								平川医院 2515
								小野医院 秋穂 2353

■診療時間は8時30分から17時30分 ■歯科は県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ。9時から15時